

地質サイトカード

カードNo.	A-②-3	通しNo.	20	作成日	2025/3/10
サイト名	たごの七つ穴				
基本情報	エリア	島根半島 眺望サイト			
	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 地質・地形	<input type="checkbox"/> 生態	<input type="checkbox"/> 文化	
	利用価値	<input checked="" type="checkbox"/> 科学	<input checked="" type="checkbox"/> 教育	<input checked="" type="checkbox"/> 観光・ツアー	
	所在地	松江市島根町多古			
	アクセス	多古沖泊まで松江だんだん道路川津ICから約20km、約30分。多古沖泊から眺望可。			
	周辺施設	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 売店 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場(10台程度) <input type="checkbox"/> ウォーキングコース <input type="checkbox"/> サイクリングコース <input type="checkbox"/> 観光施設()			
	看板整備	多古沖泊の駐車場のトイレに1枚設置			
	留意点				
保護・保全	法規制・関連団体等	大山隠岐国立公園 国指定文化財(天然記念物)			
	保全メモ				
サイトの解説	みどころ	内部でつながった海食洞群			
	地質・地形	<p>島根町多古鼻の北側の海岸線には、約400mにわたって高さ50mほどの海食崖が存在し、沖泊地域から遠望できる。ここには大小合わせて9つほどの海食洞が集中して発達し、幾つかの海食洞は内部でつながっている。国の天然記念物に指定されている。この海食崖を形成している地層は、主に海底火山から噴出した玄武岩溶岩や安山岩溶岩が、海水により冷却され、粉碎された水冷自破碎溶岩(ハイアロクラスタイト)からなり、二次的に海水中を流れ形成された火山砕屑岩や小規模な岩脈なども見られる。また、ケイ酸塩が沈殿した脈も発達する。海食洞の多くは節理あるいは小断層にそって発達しており、内部は崩壊の危険がある場所が多い。</p>			
歴史・文化 生物・生態 等	多古地域にある神社は八幡宮で、旧社名は三所荒神とされているが、『雲陽誌』には三所荒神の社名はなく、三所荒神が八幡宮になったと考えられる。				
写真・図等					
参考文献	鹿野和彦・吉田史郎(1985)境港地域の地質、島根半島四十二浦巡りの旅				